



毎日新聞茅ヶ崎北口販売所
〒253-0061 茅ヶ崎市南湖1-1-28
TEL (86)4797 FAX (40)3835

茅ヶ崎の民話上演

茅ヶ崎
民話の会

◎地蔵が淵の トネ坊やーい(浜之郷)

何よりも釣りが好きな若者がある日、小出川の地蔵が淵と呼ばれるところで特大ウナギを釣り上げました。食べようと煮えだぎった大鍋に入れようとした時、「トネ坊やーい」と言う声が聞こえました。



問合せ先 (86)8749 江目

◎南湖の瘦せ地蔵 (南湖)

ある時、南湖村が一面焼け野原となってしまいました。その中で残ったのは、川端の地蔵様ただ1つ。それも無傷のままでした。災難が来る前になると瘦せていくお地蔵様のお話。



◎日時場所
11月18日(土)午後2時～
図書館第一会議室

汐風のひとりごと

【79 よくここまで生きてこられました】

伊藤要次
昭和12年東京生まれ。79歳。
横浜で34年間
教師を勤める。
定年退職後
タレント経験有。
茅ヶ崎市在住。



私は10月22日(日)に80歳になります。傘寿という節目の歳を迎える訳です。よくここまで生きてこられたというのが正直な実感です。63歳の時に自宅で倒れて茅ヶ崎市立病院に救急搬送されました。重度の狭心症と軽い心筋梗塞を起こしていました。救急担当のお医者さんが循環器内科の女医さんだったのが幸運でした。冠動脈が90%も詰まっていたのですが、10日間の入院で危うく一命を取り留めたのです。しかしその時にあまり長くは生きられないと思いました。ただ、せめて78歳まで生きたいと願わずにはいられませんでした。78歳になれば最愛の妻と金婚式が祝えるのです。そして神仏にお願いをして2年の利息を頂戴して80歳まで生きられれば十分だと思いました。80歳になろうとしている今もこの思いは変わりませんが、身の回りのことを一人で処理することができ、大好きな短歌が詠めれば米寿まで生きてみたいという思いも湧いてきています。果たして88歳まで生きられるか、私にはまるで夢のような話です。定年退職したのが60歳。これからは5年刻みで生きていこうと人生設計し、65歳になるまでにやりたいことを列挙してみました。できなかったことは次の5年間で実現すればいいのです。こうして生きてきて80歳になるのですが、やりたいことや実現したいことは殆ど残っていません。やりたいことは全てやり尽くした感じです。

先日、1年半ぶりにひとり旅に出かけました。昨年1月に自宅で失神して救急搬送されたので宿泊を伴う旅行は避けていました。しかしその後の体調は順調で、妻の勧めもあって室生寺を詣でるひとり旅に出かけたのです。名古屋から近鉄線に乗り換えて桜井駅まで行き、そこからバスに乗り換えて安倍文殊院を訪れました。翌日には室生寺を拝観し、更に聖林寺まで足を延ばしました。同じ宿に2泊して3つの古寺を巡る、余裕のあるひとり旅でした。

最後に訪れた聖林寺では国宝の十一面観音像を拝観することができました。ほの暗い御堂には私の他に参拝者は居ませんでした。私はゆっくりと御仏を見上げました。実に神々しいお顔をして私をじっと見下ろしてくださっています。私は家族の安寧を願い、これからも見守ってほしいと祈りました。御仏は「人生を粗末にするなよ。」と私を諭しているように感じました。5分ほどの短い時間でしたが、私には御仏と対話した貴重なひと時でした。

80歳になってからは、5年刻みではなく1年刻みで生きていくことになるでしょう。聖林寺の御仏と約束したように、今まで以上に毎日を大切に生きていかなければなりません。妻との時間も大事にしようと改めて思っています。「汐風のひとりごと」も、執筆が許されるならば、より丁寧に分かりやすく、率直に自分の思いを綴っていくつもりです。読者の皆様にも遠慮のないご意見や感想を賜れば幸甚です。

「お父さん、夕食は焼肉を食べに行こうよ。」
(焼肉か、悪くないな。)
「いいよ。いつものお店だね。」
今日も何事もなく穏やかに暮れていきます。傘寿を迎えたら改めて妻と祝いの膳を囲みましょう。我が人生に乾杯!
「ひとつ夢を 果たしし思いに登りゆく
鐘坂とう室生寺の石段」



毎日の本棚

唐木田さんち物語

いとう みく 作 / 平澤 朋子 絵
定価: 本体1400円(税別)

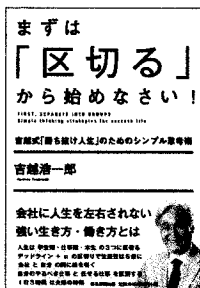


唐木田家は五男三女と両親の10人家族! 大家族なんて厄介で面倒...だけど面白い!! 疎ましくも愛おしい家族の絆を小学5年生の四男の成長を通して描いた児童文学。青少年読書感想文全国コンクール課題図書に2年連続選ばれた今注目の作家・いとうみくの最新刊。 <A5判/192頁>

まずは「区切る」から始めなさい!

吉越浩一郎: 著 定価: 本体1500円(税別)

会社に人生を預け残業に励んでも報われないのがこれからの時代。人生も、時間も、仕事も「区切る」ことで人生の勝ち組を目指す! 「自分のやるべき仕事と任せる仕事を区別する」「仕事ではあらゆることを区切って効率を最大限に上げプライベートを充実させる」「1日3時間は夫婦の時間」など、吉越式勝ち抜け人生のためのシンプル思考術。 <四六判/208頁>



毎日新聞出版の最新刊から厳選! ご注文は茅ヶ崎北口販売所まで

かながわの花の名所100選

◎川崎・浄慶寺(アジサイ)
見頃: 6月中旬～下旬

川崎市麻生区の南西部、町田市との境に近い丘陵部にある浄慶寺。1500年代、麻生領主が戦死した父親の霊を弔うと共にその武功を末永く世に伝えるために創建されたという。参詣する人々が楽しめるように昭和42年から植樹しはじめたアジサイが今では3000株程になり、季節には境内一帯が様々な種類・色で覆われ「あじさい寺」の異名を持つ。特に裏山の斜面がアジサイに埋め尽くされるような景観は圧巻。アジサイだけでなく、梅・桜・水仙・花菖蒲・萩・彼岸花・紅葉など、1年を通して季節を彩る植物を楽しむことができる。

この寺のもう1つの見どころは境内に設置された多数の羅漢石像。酒を酌み交わしたり将棋をさしたり、パソコンや携帯電話を使ったりと実にユニークで思わず笑みがこぼれてしまう。年々新しい羅漢像が追加されているとのこと。表情豊かでユーモラスな姿は訪れる人の心を和ませてくれること間違いなし。

〔交通〕小田急線柿生駅南口から徒歩10分 〔問合せ〕浄慶寺 044(988)1223

100選に登録されているものをご紹介します。この時期に花が見頃の場所は既出の為、季節がズレた花のご紹介となりますが、出来るだけ今の季節でも楽しめる所を載せておりますので、ご了承下さいませ。

